



「第95回医用超音波講義講習会」のお知らせ

中級者対象講義講習会 ステップアップセミナー


主催 日本超音波検査学会

日本超音波検査学会では超音波検査の普及と検査技術の向上を目的として、講習会を全国各地で実施し、毎回好評をいただいております。

今回は、循環器領域・腹部領域の2コースを東京で開催いたします。

講習会では、ライブレクチャー形式による戦略的アプローチ方法の解説や、カンファレンス形式による希少症例の読影方法などを学びます。また、STEP UPセミナーおよびランチョンセミナー（教育講演）を開催し、ソノグラファーに必要な幅広い知識の確認を行います。

スキルアップを目指す皆様をはじめ、ルチン検査への活用をお考えの方々に有益となる講習内容を企画いたしましたので、本講習会への参加をお勧めいたします。

日時	2008年10月18日 循環器領域コース (土) 腹部領域コース 2008年10月19日 (日)
会場	 <p>秋葉原コンベンションホール 〒101-0021 東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル4F</p> <p>JR秋葉原駅 徒歩1分 東京メトロ銀座線末広町駅 徒歩3分 東京メトロ日比谷線秋葉原駅 徒歩4分 つくばエクスプレス秋葉原駅 徒歩3分 施設地下に112台収容の駐車場完備</p>
対象	会員限定とします。
内容	中級者対象講義講習会（循環器領域コース、腹部領域コース）
受講料	各コース 7,000円（テキスト代を含む） * 両コースの連日受講は可能ですが、割引はございません。
定員	10/18 循環器領域コース 350名 400名に増員 10/19 腹部領域コース 350名 400名に増員
申込方法	https://www.jss.org の第95回講習会ページより指示に従ってお申し込みください。 本講習会はWebによる申込みのみとし、ハガキおよびFAXによる申込みは行いません。 [終了しました]
受講申込み期間	2008年8月19日～10月2日（ただし申込が定員になり次第、締切りとさせていただきます。） ※郵便振替を希望される方は、2008年8月19日～9月12日
受講証発行までの流れ	1. 受講料の入金が確認された方には、2008年10月3日頃に受講証を発送いたします。 2. 指定の期日までにご入金のない場合はキャンセル扱いとなりますのでご注意ください。 3. 開催1週間前までに受講証がお手元に届かない場合は事務局にお問い合わせください。 * 講習会当日に欠席された方への受講料の払い戻しはいたしません。ただし、入金後に代理出席を希望される方は、当会会員の方に限り出席を認めますので10月6日までに講習会ヘルプデスクへご連絡ください（講習会当日の受付ではできません）。 * 講習会当日欠席された場合には、講習会終了後に資料を郵送いたします。 * 会場内での写真およびビデオの撮影、音声録音はご遠慮願います。 * 申込みに際し、パスワードが不明の方は学会事務局(jimukyoku@jss.org)にメールでお問い合わせください。
連絡先	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 日本超音波検査学会講習会ヘルプデスク TEL : 03-5389-6214 FAX : 03-5348-8629 (電話対応時間 平日9:00～12:00, 13:00～17:00) E-mail:jss-koshu@jss.org

プログラム

10月18日（土）循環器コース

時間	内容	講師
----	----	----

08:30～8:50	開場・受付	
08:50～9:00	オリエンテーション	芦田 祐治 (中央林間緑野病院)
09:00～9:30	心臓疾患への戦略的アプローチ I ー肺塞栓症ー 深部静脈血栓症とともに肺塞栓症に注目が集まっています。肺塞栓症を疑うべき臨床症状やエコー所見、類似疾患の鑑別法、正しく診断するためのアプローチ法について解説します。	講師：石崎 一穂 (東京厚生年金病院) 座長：米山 昌司 (静岡県立静岡がんセンター)
09:30～10:00	心臓疾患への戦略的アプローチ II ー大動脈弁狭窄症ー 高齢化に伴い石灰化による大動脈弁狭窄症が増加しています。大動脈弁狭窄の原因、臨床症状、エコー所見、重症度評価の方法、手術適応の判断、ドブラ波形を正確に捉えるためのコツについて解説します。	講師：酒巻 文子 (筑波大学附属病院) 座長：米山 昌司 (静岡県立静岡がんセンター)
	休憩 (10分)	
10:10～10:40	心臓疾患への戦略的アプローチ III ー僧帽弁閉鎖不全症ー 僧帽弁形成術が積極的に行われるようになり、僧帽弁閉鎖不全症の原因診断、重症度評価が重要となっています。僧帽弁逆流の原因、弁形成のための逸脱の部位診断、重症度評価のポイントを解説します。	講師：藤田 雅史 (みやぎ県南中核病院) 座長：河原井理絵 (東海大学病院)
10:40～11:10	心臓疾患への戦略的アプローチ IV ー人工弁機能不全ー 人工弁は描出しづらくアーチファクトも多いため評価が難しいといわれています。人工弁の種類や機能不全が生じる原因、診るべきポイント、何を計測すべきかについて解説します。	講師：種村 正 (心臓血管研究所付属病院) 座長：河原井理絵 (東海大学病院)
	休憩 (10分)	
11:20～12:00	STEP UPセミナー I 特定心筋症と収縮性心膜炎 特定心筋症の分類法、代表的な疾患のエコー所見、および収縮性心膜炎の病態、診るべきポイント、類似疾患との鑑別法について解説します。	講師：戸出 浩之 (群馬県立心臓血管センター) 座長：田中 教雄 (国立循環器病センター)
	休憩 (10分)	
12:10～13:10	教育講演 I (ランチョンセミナー) スペックルトラッキング法の臨床応用	講師：石津智子先生 (筑波大学付属病院) 座長：種村 正 (心臓血管研究所付属病院)
13:40～14:20	STEP UPセミナー II 虚血性心疾患 虚血性心疾患を心エコーで見つける方法、急性心筋梗塞と合併症の診断、陳旧性心筋梗塞の診るべきポイントについて解説します。	講師：田中 教雄 (国立循環器病センター) 座長：戸出 浩之 (群馬県立心臓血管センター)
14:20～15:10	教育講演 II 3Dエコーの臨床応用	講師：大門雅夫先生 (順天堂大学医学部付属順天堂医院) 座長：遠田栄一 (三井記念病院)
	休憩 (20分)	
15:30～17:30	実践に役立つテクニカルカンファレンス =ライブ= スクリーニング検査と緊急ポータブル検査 Modffied Simpson法と一回心拍出量測定 胸骨右縁、胸骨上窩、心窩部アプローチと特殊断面 左室流入血流、肺静脈血流、組織ドブラ法 冠動脈エコー スペックルトラッキング法ほか	講師：種村正 (心臓血管研究所付属病院) 石崎一穂 (東京厚生年金病院) 酒巻文子 (筑波大学附属病院) 藤田雅史 (みやぎ県南中核病院) 田中教雄 (国立循環器病センター) 戸出浩之 (群馬県立心臓血管センター) 座長：遠田栄一 (三井記念病院)

10月19日 (日) 腹部コース

時間	内容	講師
08:30～8:50	開場・受付	

08:50～09:00	オリエンテーション	平山 現生 (江戸川区医師会検査センター)
09:00～09:45	教科書には載っていない スキャンテクニック I ライブ形式で肝・胆・脾・腎・脾の走査方法と観察ポイントを解説するとともに、実践に役立つスキャンテクニックを紹介いたします。	講師：西田 睦 (北海道大学医療センター) 座長：佐々 敏 (大垣市民病院)
	休憩 (10分)	
09:55～10:40	教科書には載っていない スキャンテクニック II ライブ形式で消化管領域の走査方法と観察ポイントを解説するとともに、実践に役立つスキャンテクニックを紹介いたします。	講師：浅野 幸宏 (成田赤十字病院) 座長：中野 英貴 (小張総合病院)
	休憩 (10分)	
10:50～11:20	教科書には載っていない スキャンテクニック III ライブ形式で骨盤腔内臓器の走査方法と観察ポイントを解説するとともに実践に役立つスキャンテクニックを紹介いたします。	講師：丸山 憲一 (東邦大学医療センター大森病院) 座長：小沼 清治 (総合守谷第一病院)
	休憩 (20分)	
11:40～12:40	特別講演 (ランチョンセミナー) 期待される超音波検査士になるために	講師：金田 智先生 (済生会中央病院) 座長：山口 秀樹 (国立国際医療センター)
	休憩 (40分)	
13:20～14:00	STEP UP セミナー I 肝腫瘍性病変の観察ポイント肝腫瘍性病変の鑑別法や検査時のピットホールを述べるとともに、最新技法を用いた腫瘍の考え方を解説いたします。	講師：上條 敏夫 (国立病院機構西埼玉中央病院) 座長：岩下 淨明 (国立病院機構埼玉病院)
	休憩 (10分)	
14:10～15:00	教育講演 －肝細胞癌の治療と施術前後の観察ポイント－	今村 雅俊先生 (国立国際医療センター) 座長：岩下 淨明 (国立病院機構埼玉病院)
	休憩 (10分)	
15:10～16:40	実践に役立つ症例カンファレンス 稀少症例を供覧し、画像所見の正しい評価方法を検証するとともに、検査をすすめるうえで必要となる疾患知識を解説いたします。	講師：南里 和秀 (静岡県立静岡がんセンター) 丸山 憲一 (東邦大学医療センター大森病院) 市川 忠好 (有隣厚生会富士病院) 小沼 清治 (総合守谷第一病院) 三塚 幸夫 (東邦大学医療センター大森病院)
	休憩 (10分)	
16:50～17:30	STEP UPセミナー II HIV感染症の超音波 近年、感染拡大が懸念されるHIV感染症（AIDS）について、感染の経緯や超音波画像の特徴を解説いたします。	講師：山口 秀樹 (国立国際医療センター) 座長：佐々 敏 (大垣市民病院)